

2025 第 1,2,3 RUTC 永遠の答えの始まり (29) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr		
2025 年 7 月 19 日 週間祈りカード		
△産業宣教/金土日時代のやぐら 25 237-5000 のための通翻訳者を育てるべき(使 2:9-11)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 25 世界宣教の準備(使 19:8)	△核心/通翻訳宣教局 ただ、唯一性、再創造の弟子(ロマ 16:21-22)
△国家の初期には各国が交流するとき、3種類の人が動いた。一番最初に動いた人は商売人、すなわち貿易する人々だった。二つ目に宣教師だ。そこに重要な役割をした人が通訳官だ。国家間の交流で最も必要な人も通訳官だ。特に、パウロが伝道運動するとき、いつも連れて通った人が通訳官だった。 □序論_道 私たちは世界福音化の道をよく分からなければならない。 □本論 1. 一つのチーム(使 13:1-4) 重要な宣教の始まりは、この契約を握った一つのチームが出てきたことだ。 1) チームの重要性 パウロとバルナバ、ヘロデの乳兄弟マナエン。彼らは世界を動かすチームだった。 2) 第一キャンプ 聖霊の導きを完ぺきに。聖霊の導きが出てくる時まで動かないのがはるかにさらにはやくて成功的。 3) 人、場所、ことが出てくる時まで 2. 一つの国(マタ 28:16-20) これが一つの国を生かして、世界を福音化したのだ。 1) あらゆる国の人々を見つけるのにとっても重要な道が 2) 備えられた弟子だ。この人は動機がなくて、ただ福音だけ聞いて生かされる。 3) 三位一体、教会化、再生産 この人に出てきた三つ:「父と子と聖霊の名において(三位一体)」、「バプテスマを授け(教会化)」、「あなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい(再生産)」これが鍵だ。 4) とともに「世の終わりまでいつもあなたがたとともにいます」 5) すべての権威-キリスト 「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています」この御名(キリスト)によって行くのだ。 3. 一つの言語(使 2:9-11) そこに重要な役割をするのが言語だ。 1) 15 か国 彼らはヘブル語を上手にして、また、その国の言葉が上手だっただろう。 2) 産業人 彼らは産業人だ。これが初代教会の始まりだった。初代教会は予算がいっぱいにあふれたとされている。彼らがマルコの屋上の部屋に参加したのだ。聖霊に導かれる弟子であってこそ可能だ。 3) ローマ、滞在中のローマ人。ローマに 237-5 千種族があるからだ。 □結論 <u>御座</u>が私たちの背景、私たちが待つのは<u>神の国</u>が臨むこと、私たちが目標とする成就是<u>神の国のこと</u>が成り立つことだ。これを 1. 毎日 2. 毎時間味わわなければならない。必ず編集、設計、デザインできるくらいのことは出てくる。 3. 毎事件、そして、毎件を味わわなければならない。これは常に 300% に向かって行くことだ。	新しい信徒でも重職者でも関係なく答えを受ける人がある。だれだろうか。 □序論_未来 <u>御座</u> 未来が来ている人だ。ヨセフは、普通の人のように見えるが未来が来ていた。 1. やぐら-三位一体の神様、御座の力、私たちの過去、現在、未来、5 力、空中の権威を持つ支配者に勝つ力、CVDIP を確実に与えられたのだ。また、三つの庭、金土日時代、黙想時代、みな準備された 2. 旅程-三位一体の神様が成し遂げられる道、奥義 10、土台 10、確信 5 つ、戦わずに勝つ流れを変えて、一生の答えを与えに行く、それゆえ、すべての旅程はキャンプだ。 3. 道しるべ-多くの次世代が来て、見ることができる道しるべが建つ。完了したカルバリの丘の契約、オリーブ山でだれも奪っていくことはできないミッション、まことのカマルコの屋上の部屋、時代を見る更新アンティオキア、完全に聖霊に導かれる宣教の始まりアジア、人生のターニングポイントを迎えるマケドニア、ローマを話した、これを続けて祈れば「セッティング」される。 □本論 1. 一つの国-レムナントは一つの国を生かすようになる。 1) 政治 2) 経済 3) 社会 -これを見て決めること 2. 一つの文化を生かすようになる。パウロは市民権を話した。 1) 祭り-詳しく見なければならぬ。 2) 国家の由来-一つの国を生かすために、その国家の由来を見なければならぬ。 3) 宗教-詳しく見なければならぬ。必ず勝利する。 3. 一つの言語を生かすようになる 1) 基本-韓国、英語 2) 国家の言語 3) 地域の言語- 5 千種族の言語は地域ごとに違う。 □結論 1. 世界化(言語) 2. 専門化(職業) -私たちの職業。英語を勉強するのは世界化だ。 3. 福音化 この三つをするのだ。レムナントは今では決意するだけでも良い。 △散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 25 通翻訳者の特権(ロマ 16:21-22) <u>特権</u> 三つがある。 1. 散らされた者の特権 この単語がレムナント、福音を持っている残りの者、旅人(寄留者)。キリストの次に重要な単語だ。 2. 代言者の特権 ローマ 16 章 21 節 22 節にパウロがメッセージをするのにテルティオが書いて伝達した。 3. 隠れた特権 みことばは必ず成就する。皆さんはこのみことばを伝える伝道者のメッセージを通訳する。テルティオがパウロが伝えるメッセージを伝達するのに同じ答えを受ける。	皆さんはただ、唯一性、再創造の弟子だ。確かにこれは準備されている。聖書に見れば、何もしなくても大きな答えを受けた人々がたくさんいる。遊女ラハブは、偵察しに来た人を隠して嘘をついたが世界を変える答えを受けた。テオフィロは医師ルカが記録した聖書のみことばを受けた人だ。 □序論_用いられる人と教会 <u>計画(みこころ)</u> -神様のみこころどおりになるので、神様の計画の中にいる者だ。 <u>方向</u>-神様と方向が合う者だ。 <u>道</u>-神様が願われるその道に立っていること <u>目標</u>が同じだ。 <u>福音(だけ)を伝える教会</u>を用いられる。 使 9:15 <u>世界福音化</u>に用いられるしもべに間違いのないならば終わったのだ。 使 17:1、18:4、19:8 <u>レムナント</u>を育てる人に間違いのないなら世界変化が起こる。 通翻訳者は<u>代言者</u>だ。 この三つの中にだけいるなら心配しないように。未来を心配する必要がない。どこにいても 300%すれば良い。 □本論 1. 祈りの中でこと、人、事件- 24、25、永遠(24、神様の働き、再創造が見える) 1) 伝道者 2) メッセンジャー 3) 通訳の中の一つが皆さん 2. 隠れた所で隠れた答えを受ける者 1) ロマ 16:25 隠しておいて皆さんに与えられる。 2) ロマ 16:26 行く場所、事ごとに皆さんに与えようと隠されていることがある 3) ロマ 16:27 未来だ。祈りの中にいることが一番大きい準備 3. 永遠の作品-伝道・宣教、主の働き、教会の働き、教会献身 1) 創 1:1-13 創造の作品を残すこと-みことばに仕える 2) イザ 40:6-8 主のみことばは永遠-礼拝のとき、神様の絶対計画が見えるように祈り 3) ヘブ 4:12 みことばの力は、からだも癒やす 4) エゼ 37:1-11 完全に死んで干からびた骨に神様のみことばを預言しなさい。 5) ヨハ 1:1-14 みことばは神様、みことばが人となった。 □結論_<u>信仰</u> あなたの信仰どおりになるように。信じて求めたことは受けたと信じなさい。そうすれば、そのようになります(マコ 11:24)。聖書全体がそうになっている。神様が私たちに与えられたみことばを私たちが握って信じれば、それが成就する。それゆえ、受けたと信じなさいということだ。

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (29) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 7 月 20 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 29 週/3 部わざわいを止める神様のやぐらを建てなさい ローマのわざわいと世界福音化(ヨハ 16:11-14, II コリ 10:4-5, ヨハ 8:44)	△聖日 1 部 ダビデに始まった苦難はすべて祝福でした(詩 23:1-6)	△聖日 2 部 WRC で伝えること(使 17:1, 18:4, 19:8)
サタンに対して聖書にだけ「世を支配する者、だます者、嘘つき、あなたがたの父」とこの話している。パウロは II コリ 10 章にこのサタンが私たちの中に要塞を作っておいたと言った。イエス様が最後のメッセージを整理されるとき、ヨハ 14 章、15 章、16 章、17 章まで聖霊に関する話をされたが、そのとき、悪霊について話された。これを分からなければ、わざわいがなぜ来るのが分からず、ローマにわざわいが臨んだのだ。それゆえ「わざわい(ローマ)と世界福音化」を覚える必要がある。 □序論_反対方向 これを分からないうちに、ローマがキリスト教国家になったのに、反対方向に続けて行く。 1. 教権-ローマが復興するので、完全に教権を現わして王にも是非を論じた。そして、ローマの歴史の最も大きい問題は法王と皇帝が戦ったことだ。 2. 横暴-いろいろな横暴を働かせたとき、ルターが福音を話した。 3. 死刑宣告-ルターに死刑を宣告した。教会が教権を行使して横暴を働かせて話を聞かない人を殺した。フランスのジャンヌ・ダルクも英国教会で死刑にさせた。ジャンヌ・ダルクが自分を法王庁に送ってくれと言ったが、最後まで送らないで死刑にさせた。 □本論 1. 1 人-が事実を知る一人だけでも良い。ルターをばかにしたので、パウロが言ったことを引用した。「私が福音を恥とはしません。福音は信じるすべての人に救いをもたらす神の力です」 1) 奴隷になったのに 1 人が悟ったのだ。 2) 戦争が起こり、 3) 捕虜になって、 4) 属国になっても、この話を分かる 1 人がいるなら家系も生かす。 2. 一つのチーム-この話が分かった一つのチームだけ出てきても 1) 237 2) 5000 3) TCK, CCK, NCK を生かす。 3. 一つの教会-一つの教会だけ悟っても多くのことが起こる。 1) 初代教会(パウロ チーム)-世界福音化が起こったのだ。 2) ルター - カルヴァン-世界が生かされた。 3) 1 人(一律の家) -ルターを助けた重職者 1 人がすべてをみな生かした。その人から始まったその教会が全世界を福音化した。 □結論 1. 祈り 300% -この契約を握って何の心配もせずに祈り 300%しなさい。 2. 職業 300% -作られる。 3. 伝道、宣教 300% -出てくる。 △いくら困難の中にも、私たちを通して現場も変化が起こり、家系も生かして、私たち一人であっても、国も生かすようになる。	□序論_レムナントに先に知らせなければならないこと 1. レムナントは成功を心配してはならない。霊的サミットに先になれば良い。 1) 幼いときに確実な契約を持っている賛美と祈りの人 2) 獅子と熊に勝つ技能 3) 卒業する前に 300%を作りなさい。 2. レムナントは濡れ衣と迫害を恐れてはならない。 1) 悪霊につかれたサウル王-傷 2) 数多くの苦しみと死の危機から抜け出したダビデ △敵を殺さずに服を切ったダビデの余裕は、私たちのレムナントが学べきた。 3. レムナントは未来を心配してはならない。背景が別にある。 1) 祈りの絶対やぐら-羊飼いであった時 2) 力のやぐら-ゴリヤテと戦う時 3) 未来やぐら-サムエルに会った時 □本論_ダビデの信仰告白 △声を出して祈り、みことばをたくさん覚えた信仰告白-脳にもものすごい癒やし 1. 私は乏しいことはありません 1) サウル王、家臣、多くの群衆が求めること、陰謀を企てて計算すること-私は必要ない。 2) 成功、出世しに行くのではない。その後に崩れた人々を生かしに行く。 2. 主は私の羊飼い-神様が導かれる方法 1) 死の陰の谷を歩むとしても、恐れません 2) 主が私の要塞、盾、避け所、王。主は私を捨てられない。 3) 主のむちと杖が私を保護される-神様の保護と導き 3. 私はいつまでも主の家に住みます-御座の力を味わう背景 1) 御座、神の国、神の国のことを味わうこと(詩 103:20-22) 2) 1 千のやぐらを建てたダビデ 3) 永遠のやぐらを建てたダビデ-神殿建築準備 □結論 1. すべての福音の契約は力が備わっていて、すべての苦難は祝福になる。 2. 幸せな祝福を味わいなさい。 1) 毎日(詩 5:3 朝、詩 17:3 夜、詩 23:1 昼) 2) 毎時間-力を得なければならない。 3) 毎事件-300%の答えを見つけ出さなければならない。 3. 世界福音化と 5 千種族を生かすほど、神様の祝福を受けなければならない。 1) ルターを生かした重職者 2) 宣教献金で建てられた病院と教会 3) 初代教会 15 か国の産業人の献金-世界福音化の始まり 4) アンティオキア教会-飢饉になったとき、ほかの教会を助けるほど祝福された神様	創 3:15 女の子孫が蛇の頭を打つ。 出 3:18 血のいけにえをささげに行きなさい。 イザ 7:14 処女が身ごもって男の子を生む。その名をインマヌエルと呼ばれる。 マタ 16:16 あなたは生ける神の子キリストです。 I ヨハ 3:8 悪魔のわざを打ち破るために、神の御子が現れました □本論_レムナントに与えること 1. 使 17:1-9 確実な福音 <u>キリスト</u>に対する確実な説明をしなければならない。永遠の前のキリスト、受肉されたキリスト、復活されたキリスト、再臨の主として立たれるキリスト、さばき主として立たれるキリスト- 3 つの庭時代を開けるように 1) 0. 1%の人が悟ったが 99. 9%の人を生かしたのだ。 2) ただ、唯一性、再創造の祝福を受けるようになる。 3) 世界福音化することができるようになる 300%作品を作るのだ。 2. 使 18:1-4 確実な旅程 <u>金土日時代</u>開くように。祈りの力を持って行くように。 1) 毎日(朝 <u>詩 5:3</u>-上から与えられる力、昼 <u>詩 23:1</u>-神の国のことを確認、夜 <u>詩 17:3</u>-答えを見つけること) 2) 毎時間(神様が与えられる力を受けるべき) 3) 毎事件(300%の作品を作りなさい) △何かことが起これば祈るのではない。祈りの中で仕事をするのだ。祈りを正しく分かれば、すべてのことをすることができる。祈りの中ですべての時間を迎えるのだ。 3. 使 19:8 確実な背景 <u>黙想時代</u>を開くように 1) 御座の力(根源の癒やし)-私たちの背景、これでなければ世界福音化することはできない。 2) 神の国(刻印癒やし) 3) 神の国のことを 40 日説明(再創造) △この三つでなければ癒やされることはできない。 □結論_すべてのレムナントを<u>霊的サミット</u>にさせなさい。 1. 申 6:4-9 今までであったことを次世代に刻印させなさい。 2. I サム 7:1-15 ミツバ運動-羊の血のいけにえをささげる時間に暗闇が崩れる。 3. II 列 6:8-24 ドタンの町運動-戦わずに勝つ。レムナントは行く道に 100%準備するのだ。 4. イザ 62:6-12 あなたを見張り人として立てた。終日終夜、主を休ませてはならない。大路を造りなさい。もろもろの民のために旗を揚げなさい。 5. 会堂-流浪の民時代を生かすようになる。 △これをのがせば、外に出て行って競争していつも負ける。衣食住問題で一生苦しめられて死ぬ。レムナントは世界福音化する準備をしなければならない。キリストがだれか、福音が何か、祈りで幸せでなければならない。行く先々に神の国が臨むのだ。その後に神の国のことが成就する。